

4-2-2 被害者（Web）と一般対象者の回答の比較分析

【要旨】

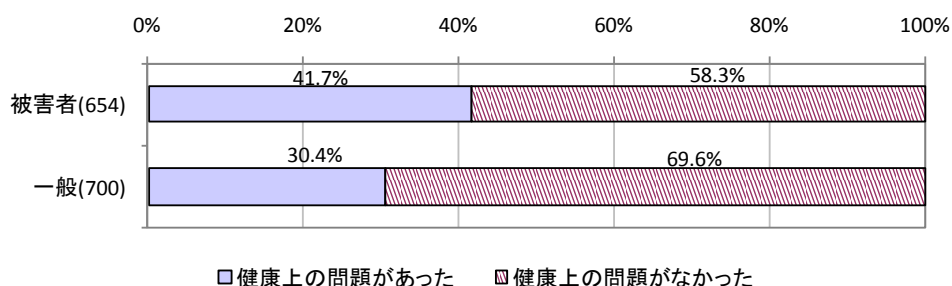
被害者（Web）は、一般対象者よりも高い割合で健康上・精神上の問題や悩みを抱えている。一般対象者も健康上・精神上の問題を抱えてはいるが、被害者（Web）とその状況を比較すると、被害者（Web）の方が重症精神障害相当の状態に達している比率、日常生活に支障をきたす日数等が顕著に高く、犯罪被害による影響の大きさがうかがえる。

健康上・精神上の問題の解決方法としては、被害者（Web）は医療機関に通うケースが多くみられる。また、被害者（Web）は、休学・休職、長期入院、家族間不和、家族間信頼の確立等の生活の変化に遭遇しやすい。また、被害者（Web）の方が世帯年収は比較的低水準にある。

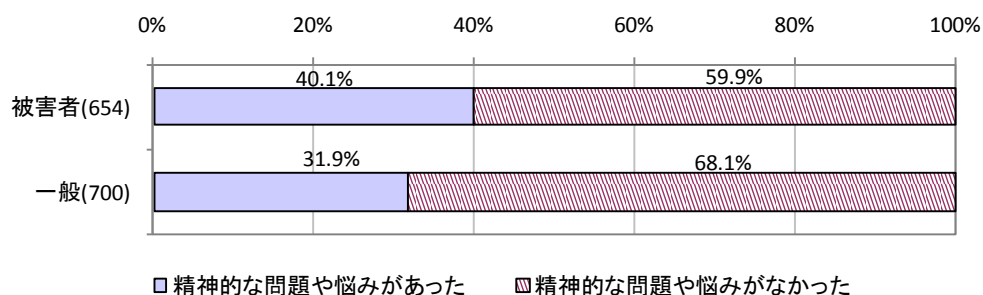
（1）健康上・精神上の問題（Web 調査_問 1、問 4）

被害者（Web）は、一般対象者よりも高い割合で健康上・精神上の問題や悩みを抱えている。ただし、一般対象者も一定程度健康上、精神上の問題を抱えており、両者の差異は約10ポイントにとどまっている（図表4-12、図表4-13）。

図表 4-12 回答者属性別、健康上の問題の有無



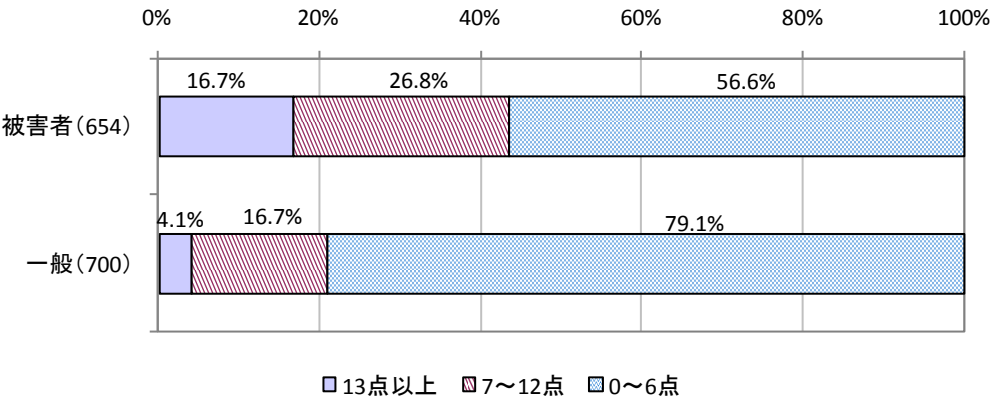
図表 4-13 回答者属性別、精神的な問題の有無



(2)精神健康状態（K6）（Web 調査_問 7）

被害者（Web）と一般対象者の精神健康状態を K6 の値で比べると、被害者（Web）では「重症精神障害」相当とされる 13 点以上の比率が顕著に高く、犯罪被害が精神健康状態に及ぼす影響の大きさをうかがわせる。

図表 4－14 回答者属性別、K6 得点



(3)日常生活が行えなかった日数（Web 調査_問 8）

この1年間で仕事や日常生活が行えなくなった日数は、一般対象者では6.1日であるのに対し、被害（Web）者では33.6日と5倍超に達している。

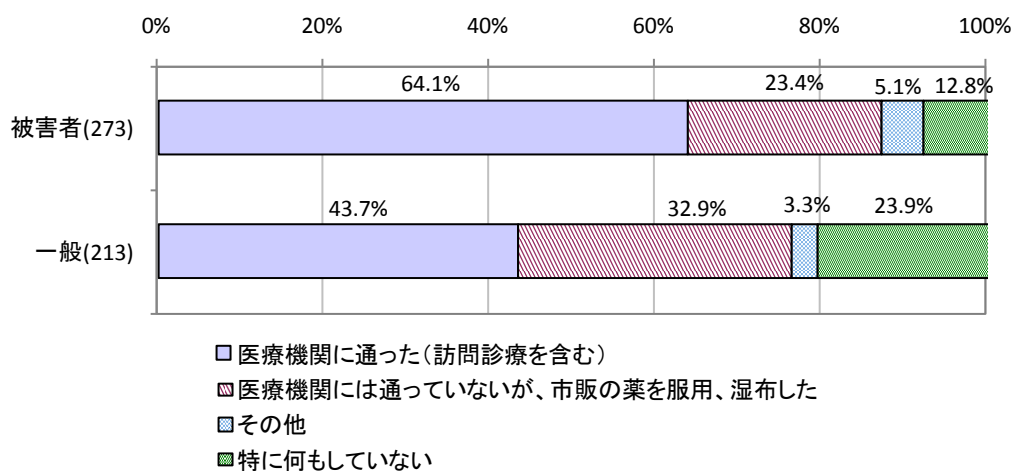
図表 4－15 回答者属性別、日常生活が行えなかった日数

	被害者(654)	一般(700)
平均日数	33.6日	6.1日

(4)健康上・精神上的の問題の解決方法（Web 調査_問 3、問 6）

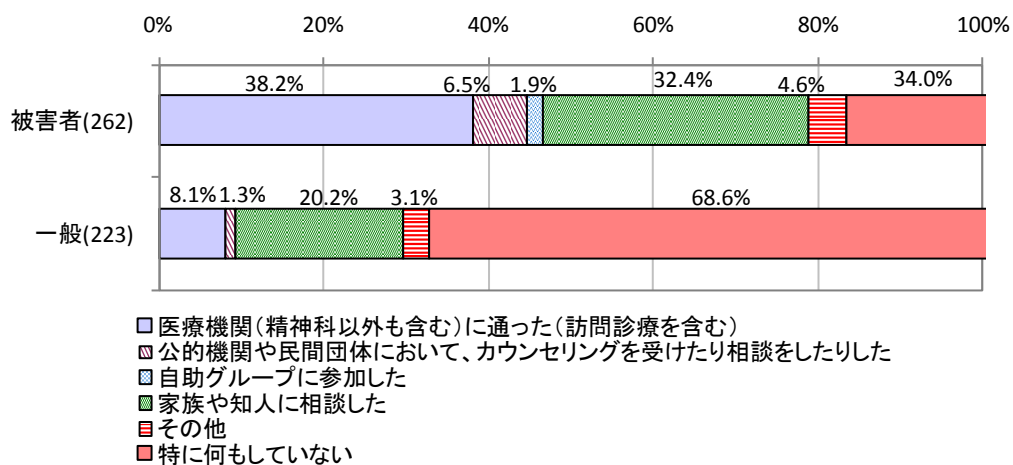
健康上の問題をどのように解決しようとしたかについて、被害者（Web）と一般対象者で比較すると、被害者（Web）の方が「医療機関に通った」が約 20%強高くなっている。また、「特に何もしていない」では、一般対象者が 10%強高くなっている。

図表 4－16 回答者属性別、健康上の問題の解決方法



同じく、精神上的の問題や悩みをどのように解決したかについては、被害者の方が「医療機関に通った」が約 30%強高くなっている。また、「特に何もしていない」では、一般対象者が約 30%高くなっている。

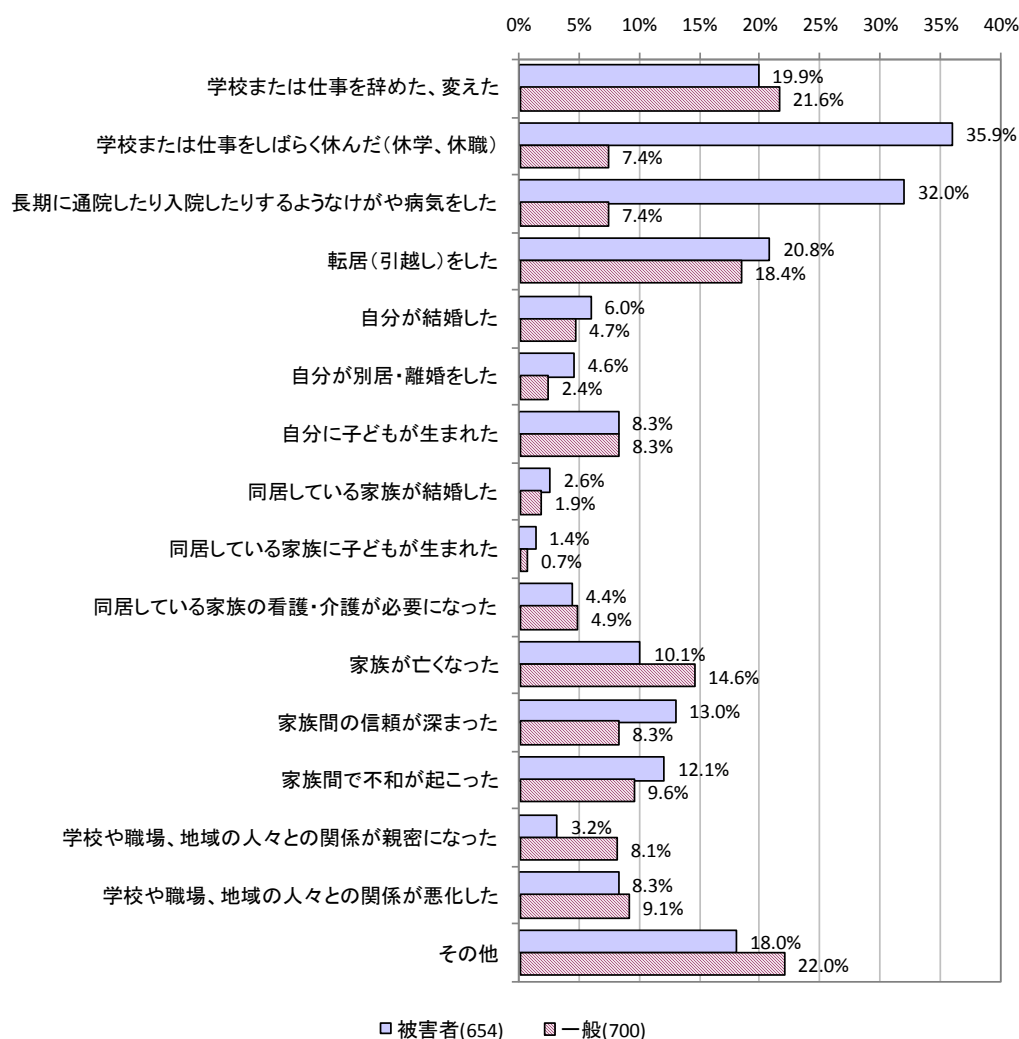
図表 4－17 回答者属性別、精神的な問題の解決方法



（5）生活上の変化（ライフイベント）（Web 調査_問 13）

一般対象者と比較すると、被害者（Web）は「学校または仕事をしばらく休んだ」、「長期に退院したり入院したりするようなかや病気をした」、「家族間の信頼が深まった」、「家族間で不和が起こった」等の生活の変化に遭遇しやすい。

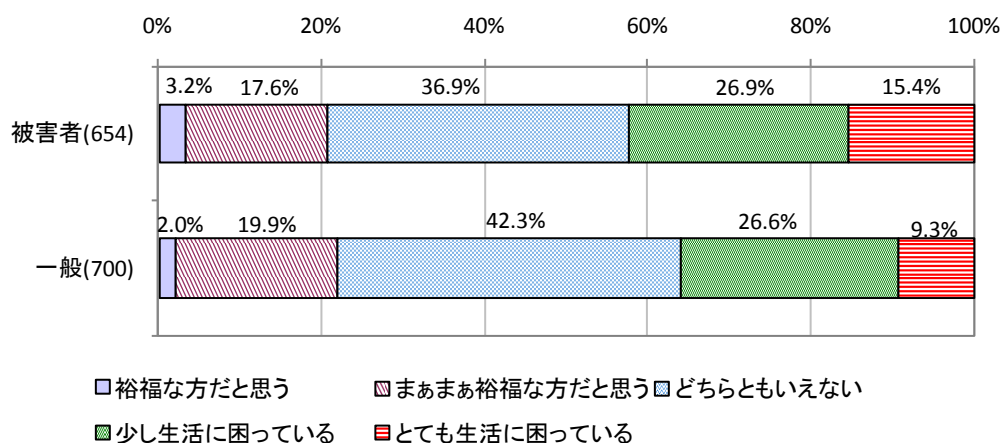
図表 4－18 回答者属性別、生活上の変化



（6）経済状況（Web 調査_問 9、F 11）

一般対象者と被害者（Web）の生活状況に関する意識には、さほど違いは見られないものの（図表 4－1 9）、両者の世帯年収を比較すると、被害者（Web）の方が比較的低水準となっている（図表 4－2 0）。

図表 4－1 9 回答者属性別、自分の生活に関する意識



図表 4－2 0 回答者属性別、現在の年収水準（世帯年収）

